

「マイクロ化学生産研究の現在、過去、未来」

マイクロ化学生産への関心と期待がいつそう高まり、京都大学でもマイクロ化学生産研究コンソーシアムが活発に活動を行っている。

日本でのマイクロ化学生産技術の発展の原点ともいう活動が2002年に始まったNEDOプロジェクト、「高効率マイクロ化学プロセス技術プロジェクト」(2003年に「マイクロ分析・生産システムプロジェクト」に移行)であった。

マイクロ化学プラント技術グループにより2006年の終了時までには9つの実証プラントが構築されるなど、大きな進展が見られ、その後NEDOプロジェクト「革新的マイクロ反応場利用プロジェクト」に引き継がれ、さらに発展をとげた。

今、これらのプロジェクトを振り返ると同時に、マイクロ化学生産技術の現状を把握し、さらなる発展の方向を探るために、本講演会を企画した。

吉田 潤一

開催日時／開催場所

平成26年8月8日 (金)

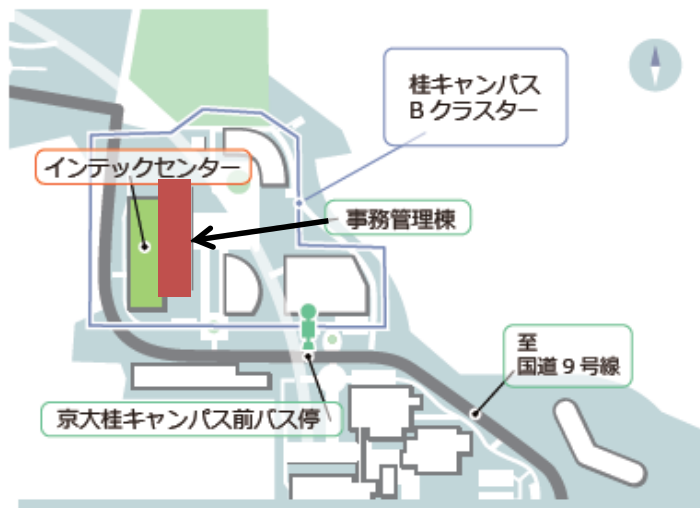
13:30～16:50

京都大学桂キャンパスBクラスター
事務管理棟3階大会議室

<http://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/access/katsura>

参加費無料(交流会参加費4,000円)

定員50名



主催
京都大学大学院 工学研究科 高等研究院
マイクロ化学生産研究部門
<http://www.cheme.kyoto-u.ac.jp/7koza/mcpsc/index.html>

13:30～	開会挨拶 京都大学工学研究科教授 吉田 潤一
13:40～	フローミストリーからファッシュミストリーへ 京都大学工学研究科教授 吉田 潤一
14:10～	設計、運転制御の観点から見た マイクロ化学プロセス研究の変遷 京都大学工学研究科教授 長谷部 伸治
14:40～	マイクロ化学生産技術の未来は？ 京都大学工学研究科教授 前 一廣
15:10～	休憩
15:30～	13TH IMRET 研究報告 京都大学工学研究科助教 渡邊 哲
16:00～	マイクロ化学プロセスによる物質生産の実現 元長岡技術科学大学教授 元富士フイルム研究主幹 佐藤 忠久
16:30～	マイクロ化学プロセス技術研究組合が担った 役割、その実績、今後への期待 元マイクロ化学プロセス技術研究組合 技術部長 伊藤 和臣
16:45～	閉会挨拶 京都大学工学研究科教授 長谷部 伸治
17:00～	交流会(ラ・コリーヌ) 参加費4,000円

申込/問合せ
京都大学大学院 工学研究科 吉田研究室
石塚 TEL: (075) 383-2728 FAX: (075) 383-2725
小野寺 E-mail: onodera@astem.or.jp

FAX 送信方向

FAX:075-383-2725

E-mail 申込アドレス: onodera@astem.or.jp

京都大学 大学院 工学研究科 高等研究院 マイクロ化学生産研究部門

「マイクロ化学生産研究の 現在、過去、未来」

参加申込書(締切 8月1日)

フリガナ		
お名前		
ご所属(企業、大学、機関等)		
部署・役職		
E-mail アドレス		
電話番号		
交流会(いずれかに○印)	参加(交流会費4,000円)	不参加

■お問合せ 京都大学大学院 工学研究科 吉田研究室

石塚 TEL:(075)383-2728 FAX:(075)383-2725

小野寺 E-mail : onodera@astem.or.jp